

大規模ERPのクラウド移行を短時間で実現。 国内有数の大手ITサービスベンダーが評価する FreeStor データ移行技術によるクラウド移行ソリューション。

『このような事例は、国内外を含めてまだ少ないと思いますが、他の方法ではこれだけ
短時間にSAPの運用環境をクラウドへと移行するのは難しかったと思います』

SCSK株式会社 ITマネジメント事業部門 netXデータセンター事業本部
クラウドサービス部副部長 白川 正人様

国内有数のITサービスベンダーであるSCSK株式会社(以下、SCSK)が提供するクラウドサービスソリューション「USiZE(ユーサイズ)」。そのサービスメニューとしてラインアップされている「クラウド移行」および「バックアップ/DR(ディザスタリカバリ)」サービスを支える重要な技術要素の一つとして、FreeStor データ移行技術が利用されている。FreeStor データ移行技術が必要だった背景と評価ポイントについて詳しく伺った。

クラウド利用時の課題から企業を解放するUSiZE

情報システムやメールなどのコミュニケーションインフラとしての利用が進むクラウド環境。一方、基幹システムの運用に関しては、セキュリティやパフォーマンス、移行リスクといった懸念からクラウド環境で運用することに二の足を踏む企業は少なくない。しかしながら、クラウドを支えるテクノロジーやそれをサポートするソリューションの進化を敏感に感じ取り、戦略的にクラウド環境へと基幹システムの移行を進める企業も目立つようになってきた。

SCSKでは、クラウドを志向する先進的な企業、さらには自社だけではクラウドの活用が難しい企業をサポートするため、クラウドに関する課題を解決するための多種多様なサービスを取り揃えたトータルソリューションとして、USiZEを提供している。



「クラウド移行」と「バックアップ/DR」のサービスを支えるFreeStor データ移行技術

オールインワン環境で提供される「USiZE」には、インフラからアプリケーション、そのアセスメントから設計・構築・運用にいたるまで、多岐にわたるサービスがラインアップされている。その中でも、「クラウドへの移行サービス」、そして「バックアップおよびDR」を支える重要な技術要素のひとつとして利用されているのがFreeStor データ移行技術だ。

SCSK株式会社
ITマネジメント事業部門
netXデータセンター
事業本部
クラウドサービス部
副部長
白川 正人氏

同社がFreeStor データ移行技術を採用した背景には、「オンプレミスとクラウドの整合性」と「ダウンタイムの最小化」という2つの課題があると海老原氏は語る。

「クラウドへのシステム移行やDR環境の構築は、新規にクラウドでシステムを構築してデータだけをコピーする場合やオンプレミス環境で移行・同期する場合とは大きく異なります。システムの中身は同じでも器(インフラ)が異なるため、単にデータやシステム環境をコピーするだけでは、データとシステムの整合性を保つことが容易ではないからです。また、業務に支障を来すことなく作業を進めなければならないので、いかに短い時間で移行・同期させるかという点も重要な課題となります。特に基幹システムではダウンタイムの最小化は必須要件です」(海老原氏)。

短時間にシステムの同期が可能なFreeStor データ移行技術は、このような課題を容易に解消できる解決手段として高く評価されている。

白川氏によれば、実際、オンプレミス環境で運用されていたERP(SAP)のクラウド移行に際して、実質1時間もかからずに9TBのデータを同期できた事例もあるという。



SCSK株式会社
ITマネジメント事業部門
基盤インテグレーション
事業本部
製造基盤インテグレーション部
第二課
海老原 秀行氏

「このような事例は、国内外を含めてまだ少ないと思いますが、他の方法ではこれだけ短時間にSAPの運用環境をクラウドへと移行するのは難しかったと思います」(白川氏)。

社名

SCSK株式会社

業種

情報・通信

SCSK株式会社について

2011年10月、住商情報システム株式会社と株式会社CSKとの合併により誕生した国内屈指のITサービスベンダー。システム開発からITインフラ構築、ITマネジメント、BPO(Business Process Outsourcing)、ITハード・ソフト販売まで、ビジネスに求められるすべてのITサービスをフルラインアップで提供。ビジネスの新価値創造とグローバル展開をサポートしている。お客様の求める未来を「共に創る」ことで、未来に向けて成長し続ける企業となることを目指している

導入製品

FreeStor データ移行技術

システム概要

クラウドサービスソリューション「USiZE」

課題

(基幹システムのクラウド移行にともなう)

- ・ オンプレミスとクラウドの整合性
- ・ ダウンタイムの最小化

効果

- ・ クラウド環境へ短時間でデータ同期
- ・ 検証・移行の検討や作業負荷の削減
- ・ 低リスクによるクラウド移行の完了

取材時期

2016年1月



FreeStor データ移行技術を使った『USiZEークラウド移行サービス』メニューを提供開始

「USiZE」では、顧客の環境や要望によって最適な組み合わせのソリューションが選択される。当然、SCSKではFreeStor データ移行技術以外の他社製品も幅広く検討しており、適材適所で用いる場面はあるが、同様の他社製品と比較して「ライセンス体系」、「パフォーマンス」、「汎用性」、「低負荷」、「拡張性」、「低リスク」という点でFreeStor データ移行技術の有用性を高く評価しているという。



SCSK株式会社
プラットフォームソリューション事業部門
ITエンジニアリング
事業本部
エンタープライズ第一部
営業第二課長
浅沼 伸行氏

「特に従量制で利用できるという点は、FreeStor データ移行技術を採用する上で大きな決め手であり、ITリソースをサービスとして利用できるという「USiZE」の基本コンセプトとも合致していました」と浅沼氏は語った。

以下では、「USiZE」サービスラインナップにおいて、FreeStor データ移行技術が「クラウド移行」と「バックアップ/DR」サービスのコア製品として認められた6つのポイントを挙げている。

① パフォーマンスが優れている

- データが圧縮・細分化されて転送されるので、ネットワークへの負荷も少なく、低帯域の回線でも高速に同期が可能。
- クラウド移行時にも短時間でデータの同期ができるので、限られた移行作業時間の中で、同期後の確認や調整などに、より多くの時間を割くことができる。

② リスクが低い

- データや構造がそのまま同期されるので、データの変換や同期後の整合性チェックなどが不要。
- 移行時に旧システムを止める必要もないので、移行時に同期が上手くいかない場合でも、旧環境での継続稼働が可能。業務への影響を最小限に抑えることができる。

③ システムへの負担が軽い

- 同期するシステムには専用のエージェントを稼働（常駐）させるだけなので、大がかりなシステムの改修や変更が不要。準備や検証、移行後の調整も短期間で済む。
- エージェントの動作が軽いので、システム本体へのパフォーマンスへの影響も少ない。

④ サブスクリプションライセンス（従量制）を選択できる

- クラウド移行で利用する際に、データ容量で課金する従量制のライセンス形態を選択できる。製品を購入する必要がなく、顧客のコスト負担とそれにとまらぬ不安を抑えることができる。
- 当時はサブスクリプションライセンスを選択できるベンダーや製品は他にはない中、いち早く、利用目的に適したライセンス提供形態を提供していた。
- 同様の製品やアプリケーションメーカーが提供する製品やサービスと比較しても高いコストパフォーマンスを提供。

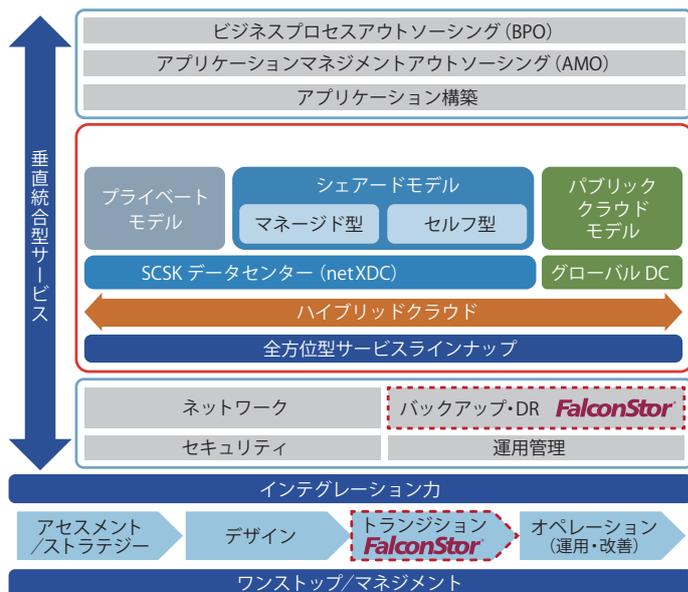
⑤ 拡張性が高い

- クラウド移行、DR、バックアップ、さらにはその組み合わせなど、目的や用途に応じて幅広いソリューションを展開できる。

（例：オンプレミス環境からクラウドへ移行。移行後は、オンプレミス環境はそのままDRサイトとして運用）

ファルコンストア・ジャパン株式会社
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-10 ハイセンスビル6F
Tel:050-3816-5444 Fax:050-3730-0287
sales@falconstor.co.jp www.falconstor.co.jp

Copyright © 2016 FalconStor Software, Inc. FalconStor Japan Co., Ltd. All Rights Reserved.
その他のすべてのブランド、製品名、会社名、商標名、及びサービスマークは、それぞれの所有者に帰属します。
すべての機能、ハードウェア及びソフトウェアパフォーマンス仕様は予告なしに変更されることがあります。



赤枠のサービスでFreeStor データ移行技術は利用されています。

SCSK構成図

⑥ システムやアプリケーションへの依存度の低さ（汎用性）

- 幅広いシステムやアプリケーションがサポートされており、ハードウェアやソフトウェアに依存しない。
- 汎用性が高いので対応するシステムが限定されない。幅広い顧客や顧客からの要望に対応でき投資効率も高い。
- VMwareをサポートしているので、クラウドネイティブな運用が可能。

より高度なデータ保護ソリューションを実現するために、高まるFalconStorへの期待

SCSKでは、このようにFreeStor データ移行技術を高く評価している。しかし、クラウドの活用へと企業の関心が移るのに比例して、データの保護や管理に関する解決策への興味と期待もさらに高まっている。

そのような状況下、SCSKではFreeStor データ移行技術を活用した「Re:BaaS」というリモートバックアップ/DRサービスも「USiZE」と同様、すでに展開していることもあり、総合的なクラウドソリューションを提供するベンダーとして、FalconStorの提供するデータ保護技術に対する期待は少なくないと浅沼氏は語る。

「企業の重要な資産であるデータを守り、ハードウェアやソフトウェアに縛られず自由かつ効率的にデータを管理したいという要望も、より強く求められるようになってきました。」

そのようなお客様の要望を具現化していかなければならない私たちは、手間と時間をかけず、適正なコストでデータをどう守るのか、どう管理していくのかという課題に直面しています。

そのような課題を解決するために、これまでのFreeStor データ移行技術を含む多機能で、汎用性や拡張性の高い『FreeStor』*のような付加価値の高い製品の活用も検討していきたいと考えています。今後、より充実した情報提供とサポート体制の強化に期待しています」（浅沼氏）。

* FreeStorはハイブリッド・クラウド環境において統一化されたデータサービスを提供することが可能な水平拡張型SDS(Software-Defined Storage)ソフトウェアであり、FalconStor データ移行機能も搭載されています。

■ お問い合わせは